



阿賀学ガイドbook

「阿賀学ガイドbook」は、「阿賀町15年教育」を踏まえ、「阿賀学」のことを共に
分かり、一緒に「阿賀学」を進め、創るためのものです。

阿賀町教育委員会2023

阿賀学ガイドbook contents

-
- ① 阿賀学とは
 - ② 阿賀学の役割
 - ③ 3つの要素
 - ④ 6つのカテゴリー
 - ⑤ はじまりの学習「水と森の学習」
 - ⑥ つながる阿賀学① ～保育園と～
 - ⑦ つながる阿賀学② ～低学年と
 - ⑧ つながる阿賀学③ ～他校、他地域の子どもと～
 - ⑨ 阿賀学レシピ「A-ing（エーイング）」を創ろう

1 阿賀学とは

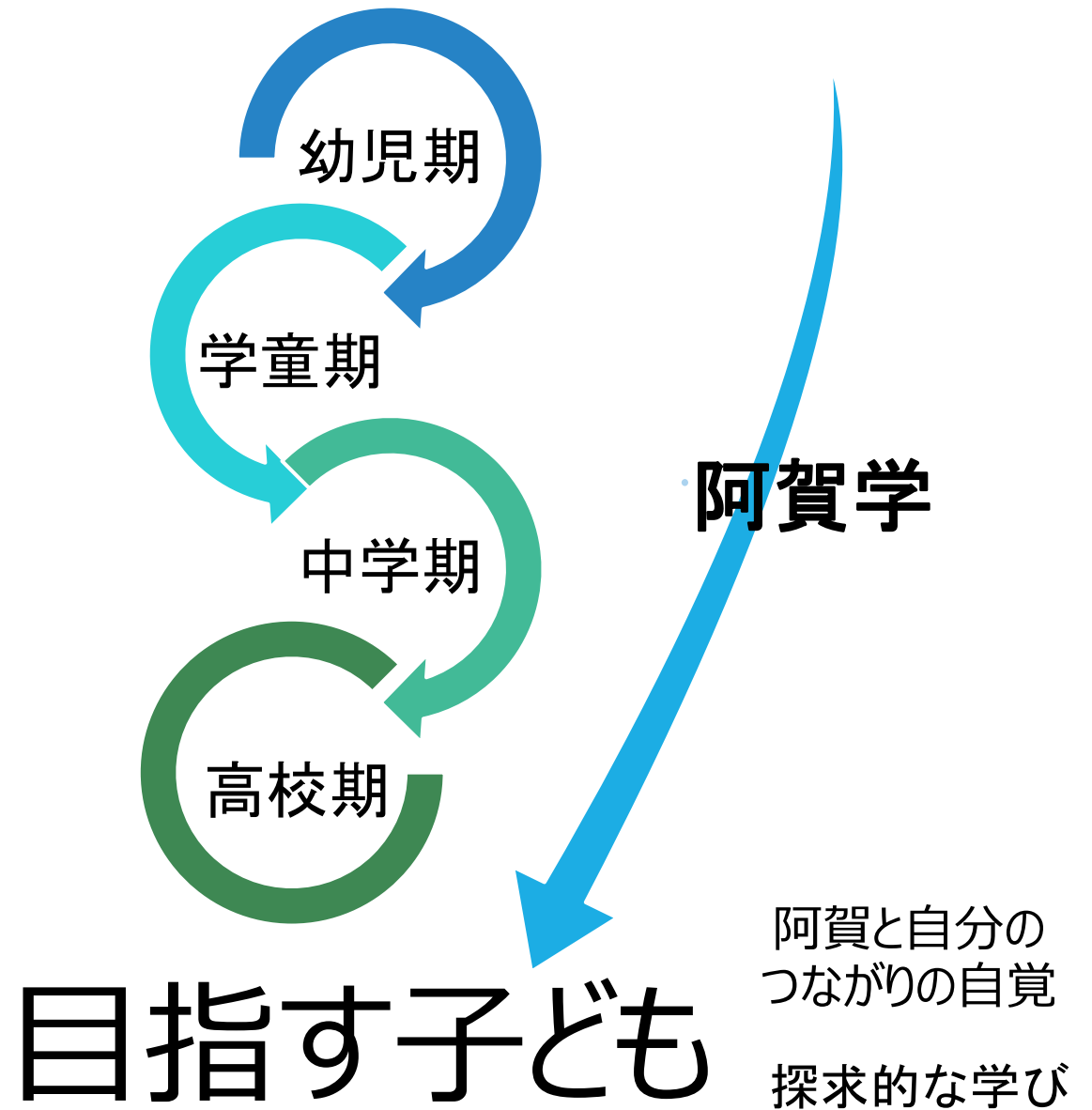
阿賀町の「ひと・もの・こと」に学ぶ。これが阿賀学です。

キャッチフレーズは、「阿賀町のひと・もの・こと、すべてが先生」です。



② 阿賀学の役割

阿賀学は「阿賀町15年教育」が
目指す「ふるさとを愛し、夢をもち、
意欲的に学び、自らの未来を切り拓
く子」を育む中心的な役割をもちま
す。

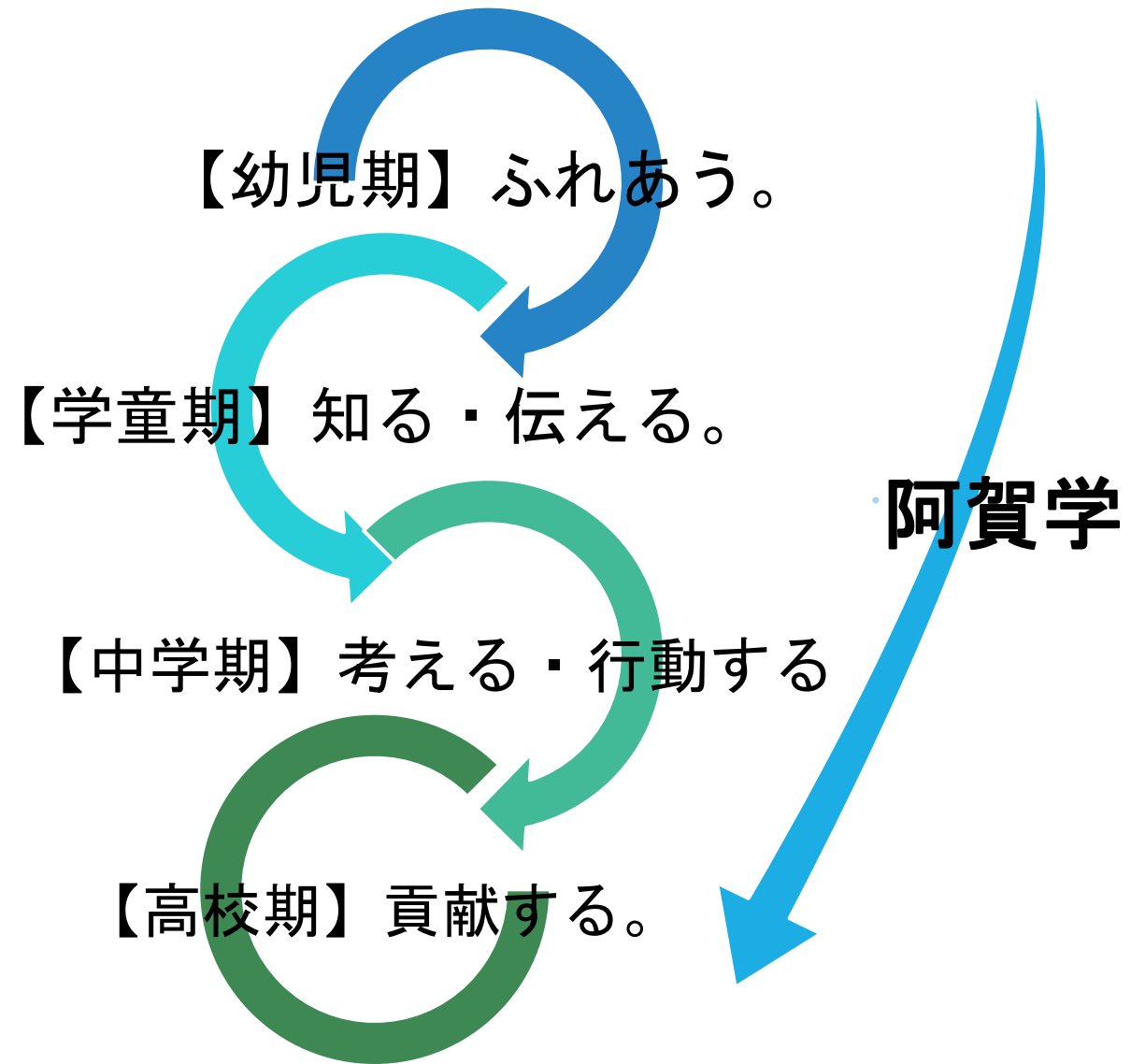


② 阿賀学の役割

それぞれの段階において、次のことを大切にします。

幼児期は「ふれあう」、小学期は「知る・伝える」、中学期は「考える・行動する」、高校期は「貢献する」です。

これらを踏まえ、阿賀学（単元構想、実際の活動等）を進め、目指す子どもの姿を実現します。



③ 3つの要素

【要素1】・「ひと」を通じて「もの・こと」を学ぶ。

▶地域学

【要素2】・「ひと」を学ぶ。

▶キャリア教育

【要素3】・「未来」を考える。

▶SGD's



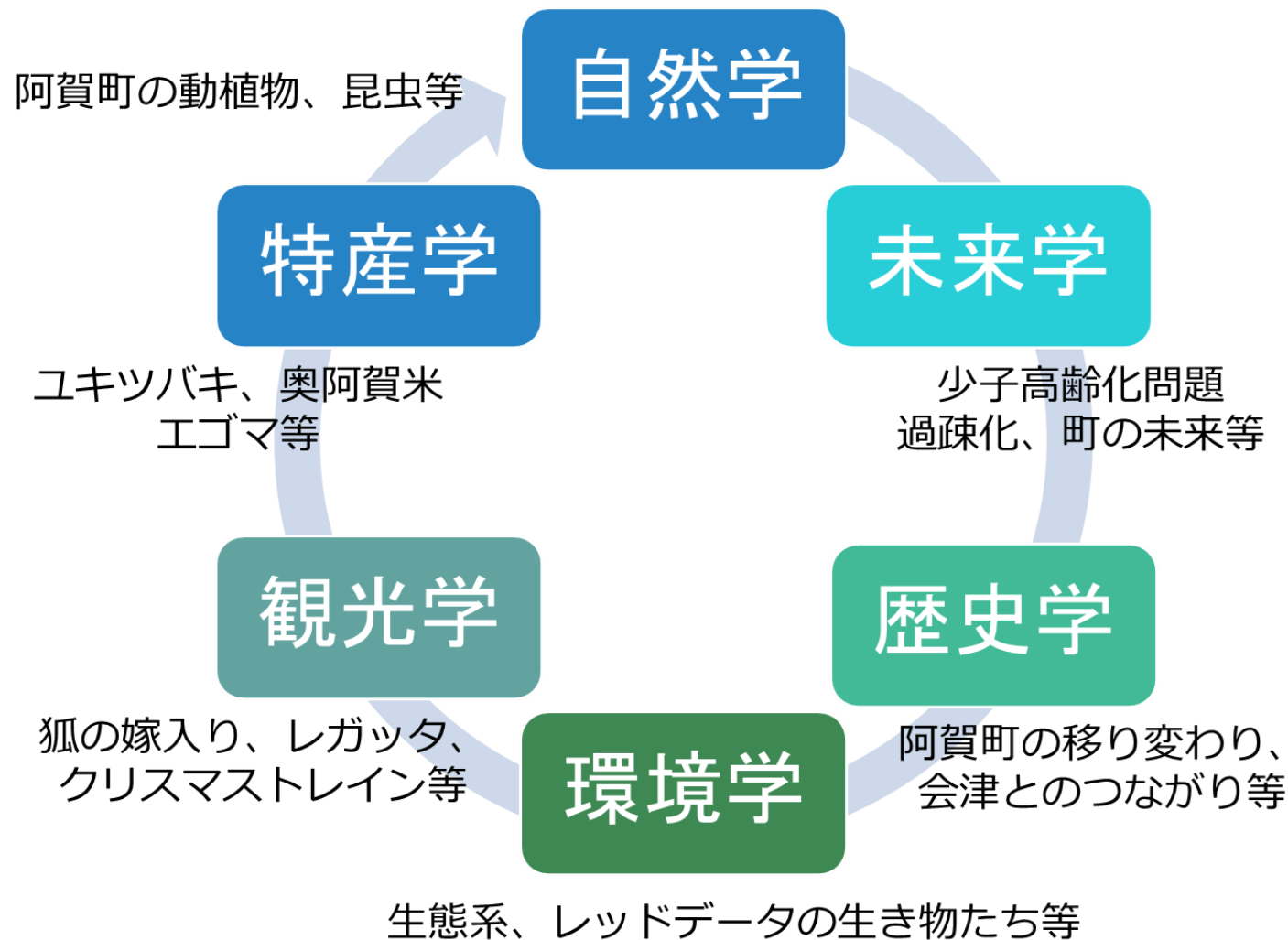
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



④ 6つの カテゴリー

阿賀学は、「ひと・もの・こと」を、
6つのカテゴリーをつくり分類して
います。

阿賀学を創る（単元構想や
実際の活動等）視点（参考・
ヒント）とします。



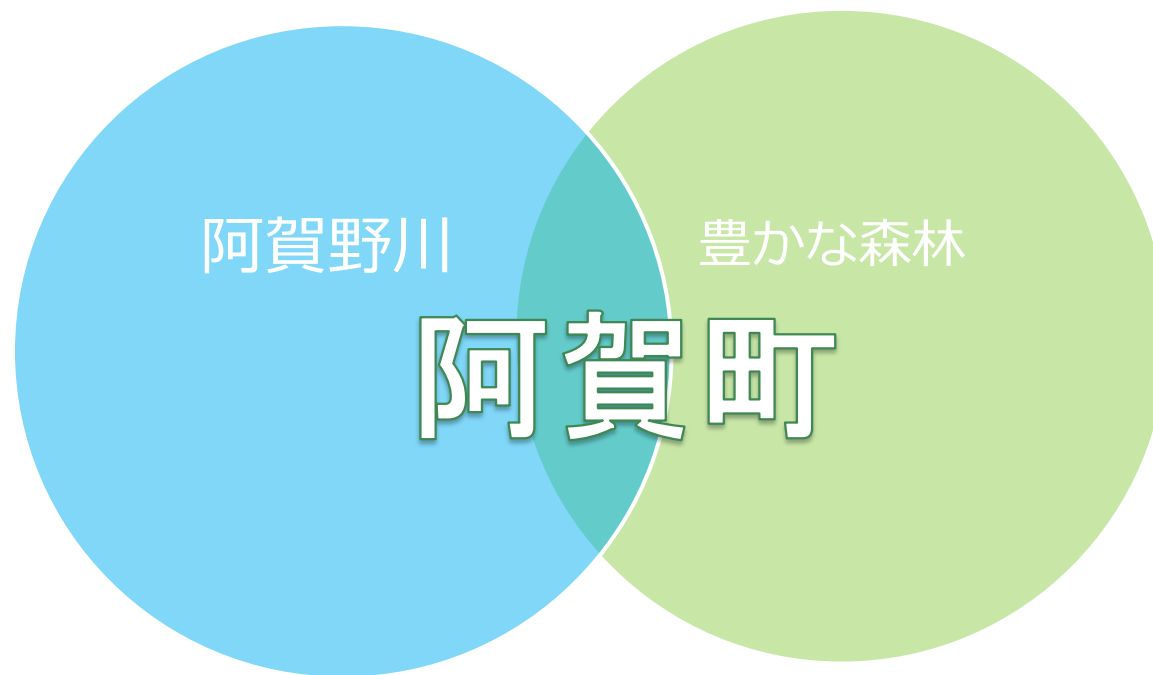
⑤ はじまりの学習 「水と森の学習」

「阿賀学」は、はじまりの学び「水と森の学習」からスタートします。

これは、総合的な学習の時間で阿賀学を学び始める小学3年生を対象とした単元です。

阿賀町の豊かな森林と福島県を源流とする阿賀野川。これらと阿賀町に暮らす人々とは深いつながりがあります。

阿賀野川と豊かな森林。これらを学ぶことが、阿賀町の子らには大切です。



⑥ つながる阿賀学 ～ 保育園と ～

“ふれあいを大切に。
好きをたくさん増やす。”

幼児期の「阿賀学」は、「10の姿」を前提に、「遊び」を通じて、地域の「ひとやもの・こと」と「ふれあう」ことを大切にします。

「ふれあう」ことを通して、地域の好きな「ひと・もの・こと」をたくさん増やしていきます。

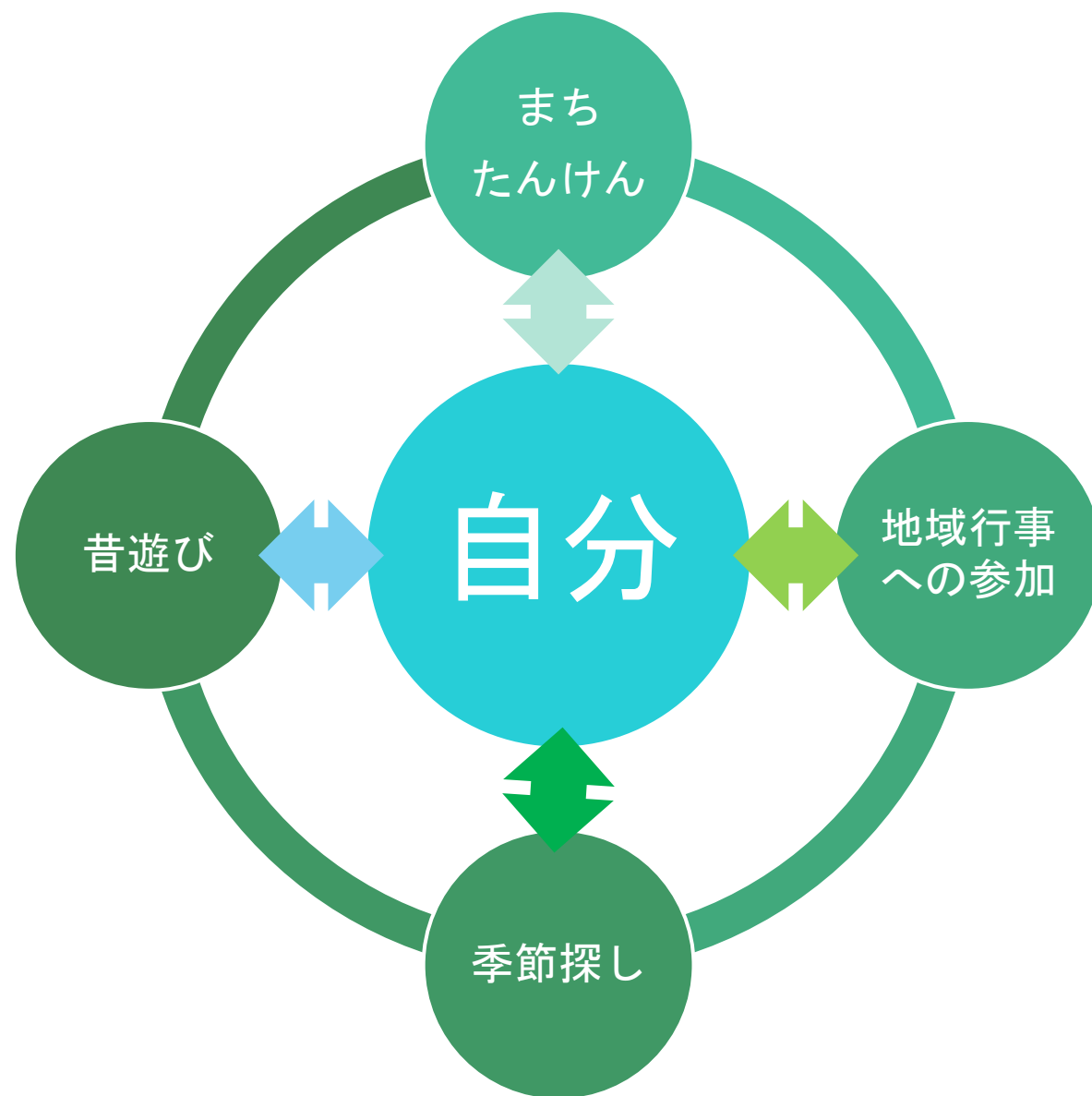


⑦ つながる阿賀学② ～ 低学年と ～

1, 2年生の「阿賀学」は生活科や特別活動を中心に行います。昔遊びや町探検を通じて、学区のひとやもの・ことをふれあい、知ることができます。また、大きくなった自分の成長を振り返ることを通して、「自分を知る（キャリアの視点）」ことができます。

また、地域の伝統行事に参加することも阿賀学です。

自分が生活する地域の好きなひと・もの・ことをたくさん見つけ、自分と地域のつながりを実感させていきます。



⑧ つながる 阿賀学③

他校と他地域と

阿賀学は、様々なひととつながることも大切にしていきます。

同じテーマで学習しているほかの学校の仲間と意見交流したり、問題を見つけ解決したりすることができます。

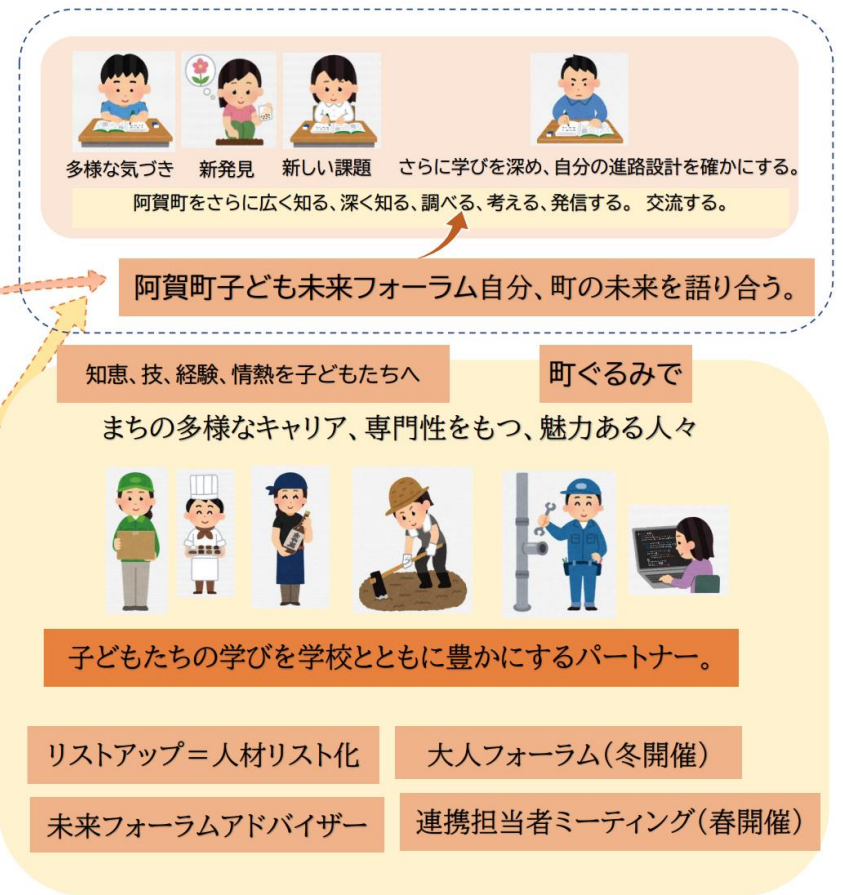
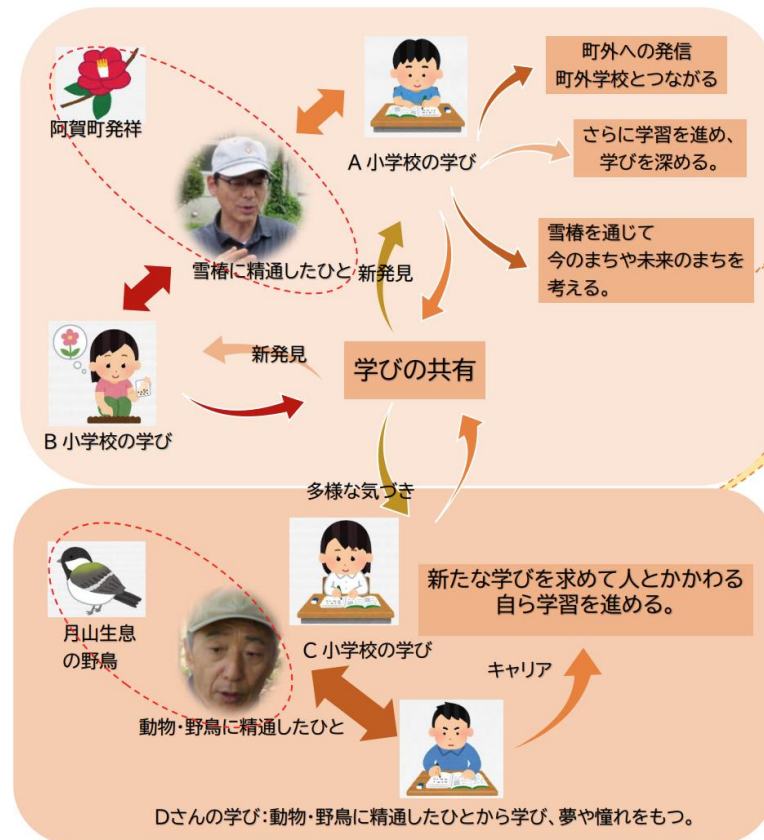
町外の仲間とつながることもできます。

阿賀学 Aga-gaku ~阿賀町の「ひと・もの・こと」すべてが先生~

R4.0401

「学」で括ることで、「学」に精通した「ひと」とつながり、学校と学校とがつながり、学校と地域とがつながり、阿賀町と他地域とがつながり、今の自分と未来の自分とがつながる。

例えば、阿賀学「自然学」で、こんなつながりが生まれてくる。



9 阿賀学レシピ

阿賀学を創る手掛かりとしていただくものとして作りました。

「素材（学習材）」「手順」を簡略的にまとめています。単元例を数例紹介していますが、実際には先生方よりアレンジしていただきながら、阿賀学を子どもたちと一緒に創っていただきたいのです。

先生方が作られた「レシピ」を追加していただきたいと計画しています。ご協力をお願いします。

【※フォーマットは共通とします。】

観光学レシピ 1 「世界に発信！狐の嫁入り」

【出会い】

- ・ 狐の嫁入り行列の映像を見たり、参加した児童の話を聞いたりする。

【問題意識の醸成】

- ・ 狐の嫁入り行列についてもっといろいろな地域のみなさんに知ってほしい。

【目標（テーマ）・課題の設定】

- ・ 狐の嫁入り行列をたくさんのひとに伝え、阿賀町のことを知らせよう。

【追求】

- ・ 狐の嫁入り行列の歴史、内容について調査し、結果を整理し、まとめる。
- ・ 狐の嫁入り行列に参加する方法を検討し、計画を作り、提案する。
- ・ 台輪づくり、行列参加、PR活動を行う。
- ・ 活動記録を整理し、狐の嫁入り行列CMを制作し、発信する。

【振り返り】

- ・ 自分の学習の成果と課題を振り返る。
- ・ 学習の成果と課題を全員で振り返る。



1 【狐の嫁入り行列】

麒麟山の狐火伝説をモチーフとし、1990年に始まった。狐に扮（ふん）した花嫁がお供を引き連れて中心街を練り歩き、花婿と結婚の儀を執り行う催しです。



2 【台輪】

狐と世相をモチーフにし、町内小学生が製作するオブジェです。火が入ると幻想さが醸し出されます。



3 【狐火伝説】

津川の狐火は世界一で、麒麟山にまつわる狐火の話は数多くあります。昔、嫁入りは夜にかけて行われ、あたりは暗く、提灯を下げて行列しました。この提灯の明りと狐火が平行して見え狐の嫁入り行列が生まれたとも言われています。

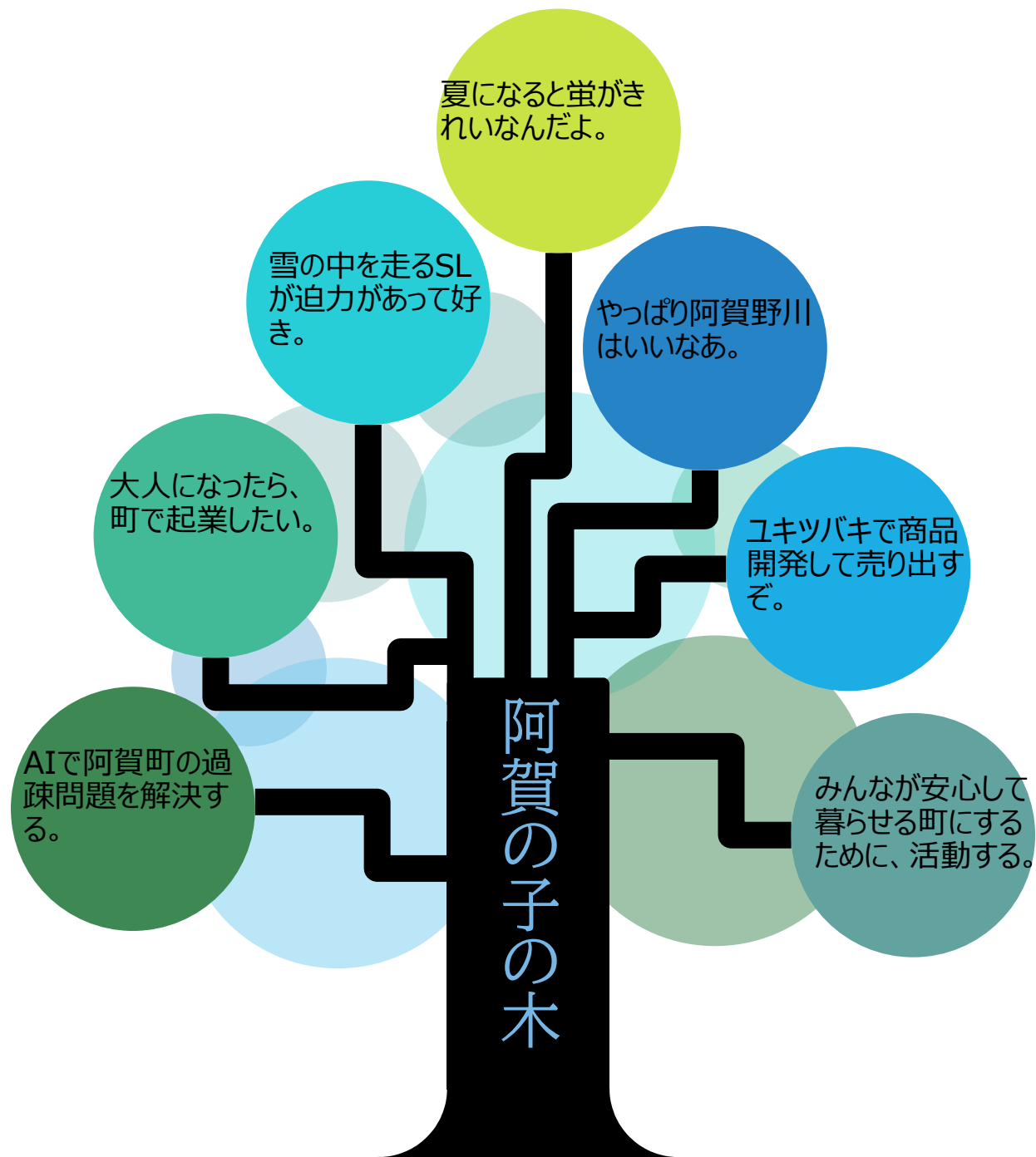


4 【行列イベントへの参加②】

町内の小学生が行列に参加します。行列の先導役を務めます。

“みんなで”を 合言葉に

「阿賀町が好き。」「阿賀町のことを誇りをもって語れる。」「阿賀町に貢献する。」など、こんな実りをたくさん持つ「ひと」に、阿賀学を通じて育てていきませんか？



阿賀学ガイドbook

阿賀町教育委員会2023

令和5年4月

